

2008 年度活動報告書

〔教育セミナー・ワークショップ〕

セミナー「ペルソナとシナリオの概要と実践」

開催日：2008年5月26日、2008年8月20日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：85名



〔講師〕

「ペルソナ手法の概要と実践」

・山崎 和彦氏（千葉工業大学）

「シナリオ手法の概要と実践」

・郷 健太郎氏（山梨大学）

好評につき2回実施した。

セミナー「新入社員のための人間中心設計」

開催日：2008年6月2日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：39名



〔講師〕

「人間中心設計の基礎」

・郷 健太郎 氏（山梨大学）

「新入社員のためのユーザビリティ評価：入門編」

・伊藤 泰久氏（株U'eyes Design）

講演会「観察，インタビューによりユーザ要求事項を抽出する方法」

開催日：2009年2月27日

開催場所：扇町インキュベーションプラザ メビック扇町（大阪）

参加人数：24名

〔講師〕

「行動観察の方法と実践例」

・松波 晴人氏（株大阪ガス）

「現場でユーザ要求事項を抽出してユーザインタフェースデザインに反映する」

・前川 正実氏（株操作デザイン設計）

「実践的インタビュー方法」

・矢島 彩子氏（富士通株）

〔展示会〕

組込みシステム開発技術展 (ESEC)

開催日：2008年5月14日～16日

開催場所：東京ビックサイト

【概要】

組込みシステム開発技術展 (ESEC) にセミナー、展示両面で参加した。

Embedded Technology2008 (組込み総合技術展)

開催日：2007年11月19日～21日

開催場所：パシフィコ横浜

【概要】

Embedded Technology2008 (組込み総合技術展) カンファレンス、展示両面で参加した。

【カンファレンス】「人間中心設計フォーラム 2008」

- ・澁澤 博之氏 (カシオ計算機株)
- ・美記 陽之助氏 (日産自動車株)
- ・山崎 和彦氏 (千葉工業大学)
- ・和井田 理科氏 (日本ビクター株)

【展示ブース】

専門書籍を展示し、HCD-Net の活動について説明をした。

〔イベント・その他〕

第1回HCD-Net サロン「HCDとエスノグラフィー」

開催日：2008年4月24日

開催場所：千葉工業大学津田沼キャンパス

参加人数：49名

〔概要〕

ユーザーがフィールドで、実際にどのような活動をしているのかを 観察・分析する「エスノグラフィー」に関連して、講師にお話をいただき、人間中心設計のプロセスで「エスノグラフィー」の効果的な活用に関して、講師と参加者にて討議をした。

〔講師〕

「エスノグラフィック・ユーザビリティ」

・松原幸行氏（キヤノン株）

「フィールドにおける利用状況調査」

・尾上晏義氏（株インターソフト）

「デザイン・エスノグラフィーの紹介」

・岩寄博論氏（株博報堂）

2008年度通常総会

開催日：2008年6月26日

開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス 講堂

〔概要〕

報告事項：2007年度活動・会計報告

決議事項：役員を選任について

決議事項：2008年度活動計画・2008年度予算

HCD-Net フォーラム 2008「満足感の向上を目指して～HCDの挑戦～」

開催日：2008年6月26日

開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス 講堂

参加人数：165名

〔概要〕

人間中心設計（Human-Centered Design, HCD）の最大の課題は、システムや製品を介して利用者に適切な経験と高い満足感を提供することである。この意味で製品開発以外の分野に学ぶところは多く、また日々研鑽を積みなければなりません。2008年度HCD-Net主催フォーラムでは、ザ・リッツ・カールトン・ホテル日本支社長の 高野 登 氏 をお招きして最高のホスピタリティを提供する取り組みについてお話をいただいた。第二部ではHCDの挑戦として、複数のグループに分かれてより深く専門討議を行った。

〔第一部：基調講演〕

・高野 登氏（ザ・リッツ・カールトン・ホテル）

〔第二部：パラレルセッション〕

セッション1（HCD-Net 教育事業部）

「人間中心設計人材育成および教育プログラム」

セッション2（HCD-Net 研究事業部）

「2008年度 人間中心設計推進機構ツール研究発表」



セッション3 (HCD-Net 開発事業部)

「引き合わせ業務フローと人間中心設計に係わる企業や研究機関のデータベースの紹介」

セッション4 (HCD-Net 国際事業部)

「世界のHCD事情～ユーザビリティコミュニティとの国際連携～」

第2回HCD-Net サロン「HCDにおけるデザイン・パターンの活用」

開催日：2008年7月30日

開催場所：キャンパス・イノベーション・センター

参加人数：42名 (HCD-Net 会員限定)

〔概要〕

建築の世界から始まったデザイン・パターンの考え方はソフトウェア設計に活用されている。

このデザイン・パターンをユーザーインターフェース設計などHCDでの活用について、UIデザインパターンの専門家にお話を伺い、講師と参加者により討議をした。

〔講師〕

「デザインパターンについて」

- ・篠原 稔和氏 (ソシオメディア㈱)
- ・上野 学氏 (ソシオメディア㈱)

HI 学会ヒューマンインタフェースシンポジウム 2008 ワークショップ

開催日：2008年9月1日

開催場所：大阪コンベンションセンター (第1部)、レストランミネルバ (第2部)

参加人数：24名

〔概要〕

このイベントはHIシンポジウムとのジョイント企画である。シンポジウム参加者を対象にしたワークショップに加えて、ワークショップでの話題提供者の方々やHCD-Net理事の方々とディスカッションできる懇親会を合わせて開催した。

〔第1部〕ワークショップ「コミュニケーションツールとしてのペルソナ・シナリオ」

「ユーザビリティの特徴を伝えるシナリオとは」

- ・郷 健太郎氏 (山梨大学)

・

「Lotus Software 開発におけるペルソナ事例の紹介」

- ・山崎 正孝氏 (日本アイ・ビー・エム㈱)

・

「富士通キッズ」

- ・久鍋 裕美氏 (富士通デザイン㈱)

・

「すぐに実践で利用できた！小さなチームでのペルソナ手法の利用方法と事例」

- ・吉井 誠氏 (㈱アイ・エス・ティ)



〔第2部〕「HCD-Net Night」

ワークショップ参加者とHCD-Net理事による懇親会



第3回 HCD-Net サロン「HCDと感性」

開催日：2008年9月25日

開催場所：新宿マインズタワー15F 株式会社アビタス内 セミナールーム

参加人数：79名

〔概要〕

HCDでは、ユーザーの総合的な体験をとらえるために、感性を考慮することが重要となっている。近年は、「感性」や「感性価値」をどのようにとらえていくか、いろいろなアプローチや議論が検討されている。本HCD-Netサロンでは「HCDと感性」をテーマに、講師と参加者が討議をした。

〔講師〕

「感性と感性価値」

- ・ 渡邊 政嘉氏（経済産業省製造産業局）

「企業と感性-事例1」

- ・ 小島 健嗣氏（富士フイルム株）

「企業と感性-事例2」

- ・ 三澤 直加氏（株U'eyes Design）、藤田 充氏（株デンソー）

〔パネリスト〕 樽本 徹也 氏（利用品質ラボ）

- ・ 山崎 真湖人氏（アドビシステムズ株）
- ・ 長谷川 敦士氏（株コンセント）
- ・ 山崎 和彦氏（千葉工業大学）



World Usability Day 2008 Japan

開催日：2008年11月13日

開催場所：株式会社ビービット 大会議室

参加人数：50名

〔概要〕

World Usability Day（以下WUD）は、ユーザビリティを世界に広めることを目的に、世界各地で同じ日に行われるイベントである。このUPA（Usability Professionals' Association）が主催するWUDイベントに人間中心設計推進機構も賛同し、統一テーマである「Transportation（交通機関）」をテーマにして開催した。

〔イベント内容〕

1. 「海外イベント参加報告&予告」（CHI2008, User Friendly 2008, HCII2009）
2. 「高齢者を対象とした駅の案内表示のユーザビリティ調査」 産業技術総合研究所 北島 宗雄氏
3. 「株ビービット ユーザビリティ・ラボ見学」
4. 「スマートウェイの取り組み -道路から進める ITS-」 国土交通省国土技術政策総合研究所



賛助会員向けイベント「ビジネスに役立つHCD」

開催日：2008年12月9日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：45名



〔概要〕

賛助会員の方で、有意義な情報交換をしていただく場として、またHCDに関する理解と実践を促進ことを目的に開催した。ラウンドテーブルではグループ別に、「ビジネスに役立つHCD」というテーマで、自身や社内的な課題などから、どのように進めていけば良いかなどを議論した。

〔講師〕

基調講演 「HCD とビジネス」 小林 洋氏(オムロンヘルスケア株)

講演-1 「富士通におけるHCDの取り組み」 浅輪 武生氏(富士通デザイン株)

講演-2 「ソニーにおけるHCDの取り組み」 平山 智史氏(ソニー株)

第4回HCD-Net サロン「先進的インタフェースデザインにむけて」

開催日：2009年1月30日

開催場所：京都工芸繊維大学

参加人数：41名

〔概要〕

iPhoneなど、魅力的で使いやすい先進的ユーザーインタフェースが求められている。先進的インタフェースを企画・デザイン・開発する環境、状況、手法などに関しての問題、提案、アプローチなどについて討議した。

本会は限られた会場であることと、会員の勉強および親睦を目的として、会員優先であった。

〔講師〕

インタフェースデザインのためのプロトタイプ手法

ーペルソナからプロトタイプへ

山崎和彦氏(千葉工業大学、教授)

先進的インタフェース開発について

八田晃氏(ソフトデバイス・CTO)

高橋賢一氏(ソフトデバイス CEO)



知財戦略ワークショップ

開催日：2009年2月6日

開催場所：U'eyes Design 渋谷オフィス

参加人数：15名 理事および評議員



〔概要〕

2005年に当NPO法人が発足してから4年が経ち、この間、多くの知財が産出されている。教育テキスト、設計ガイドラインなどの著作物と同様に、今後、HCDに関わるツールの開発も期待されている。このような経緯の中、NPO法人として、どのように知財を管理運用すれば良いのかが大きな課題になってきている。

開発事業部では、ソフトウェア、ユーザーインターフェースに関する知財の専門家として著名な松倉先生をお招きし、HCDに関わる知財についてのワークショップを開催した。

〔講師〕

弁理士 松倉 秀実 氏(秀和特許事務所)

[プロジェクト]

地方自治体 Web サイト ユーザビリティ評価 (引越情報部門)

主催：HCD-Net 規格・認定事業部

概要：人間中心設計プロセスの重要性を Web 開発者に伝える目的で地方自治体 Web サイトのユーザビリティ評価 (引越情報部門) を行った。ワークショップを開催して受講した 44 名の参加者が第 2 次審査員となり、専門家による最終審査を経て、人口 13 万人以上の 305 地方自治体サイトの中から、利用者にとってより使いやすく便利なホームページを 5 サイト選定した。

6 つの優秀サイトは下記のとおり。

最優秀サイト：兵庫県尼崎市

第 2 位：千葉県習志野市

第 3 位：茨城県ひたちなか市

優秀サイト：神奈川県川崎市麻生区

愛知県小牧市



地方自治体 Web サイト ユーザビリティ評価の結果報告及び表彰式

日時：2009 年 4 月 23 日 (木)

場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加者：34 名



【概要】

優秀サイトが選ばれるまでのプロセスを説明し、優秀サイトの兵庫県尼崎市、千葉県習志野市には表彰状を贈呈、審査員の方々に修了証を授与した。各行政の担当者からホームページ作成のプロセスについて説明をして頂いた。「地方自治体ウェブサイトとユニバーサルメニュー」に関する講演を行った。また、電子政府向け「ユーザビリティ・ガイドライン」についての説明もあった。